



—第7号—

地域・だいがく連携通信 —神戸大学地域連携ニュース—

神戸大学地域連携推進室
〒657-8501
神戸市灘区六甲台町1-1
TEL : 078-803-5029
FAX : 078-803-5049
E-mail : ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp

神戸大学と兵庫県との連携協定を締結

2010年8月2日(月)、兵庫県公館で、神戸大学・福田秀樹学長と兵庫県・井戸敏彦知事の間で、連携協定書の調印式が行われました。兵庫県とは、これまでも人材育成、地域振興、国際交流の推進、地域医療の推進など様々な分野において協定を結び、連携を進めてきました。昨年度からは、神戸大学統合研究拠点のポートアイランド地区での整備がスタートし、科学技術分野での連携が急速に進展しています。これを機に、今般、地域社会の一層の飛躍・発展に貢献するため、各分野の連携の基盤となる包括的な連携協定を締結する運びとなりました。

調印後には、連携協定締結を記念する講演会が開催されました。講演会では、主に、科学技術・産業振興分野において、連携して取り組みが予定されている事業を中心とした主要な研究プロジェクトの紹介が行われました。



協定書への署名を終え、握手を交わす福田学長(右)と井戸知事
(8月2日、兵庫県公館にて)

人文学研究科・「地域歴史文化連携コンソーシアム」

2010年6月28日(月)、全国のモデルとなる地域歴史遺産の保全活用の実践的研究を行うことを目的に、「第1回地域歴史文化連携コンソーシアム」が、神戸大学人文学研究科学生ホールで開かれました。

この事業は、同研究科地域連携センターの住民と共に行う古文書調査や文化財展示などの活動実績を踏まえ、県内の歴史資料情報の収集・公開をめざす基盤づくりや地域歴史文化を担う人材育成を内容とする「地域づくりプラン」の構築を目指すものです。現在、文化庁が市町村による「歴史文化基本構想」を提唱し、地域歴史遺産を生かしたまちづくりを推進する「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(歴史まちづくり法)」(2008年)が制定されるなど、地域活性化やコミュニティ再生に地域歴史文化を生かす取り組みが注目されています。

主旨説明で、奥村弘副センター長(地域連携推進室長)は、「高度経済成長期以前を知る世代を中心に、現在は地域歴史文化継承の最後の時期」と大学・地方自治体・地域住民が連携して、次世代に引き継ぐモデルづくりが急務の課題であると指摘しました。

参加者は、協力関係にある兵庫県、神戸市、丹波市、朝来市、小野市、加西市などの各自治体関係者、神戸新聞社、住民組織など学内外からおおよそ45名でした。

なお、人文学研究科では、2010年度から3年間、文部科学省より特別経費の交付を受け、特別研究プロジェクト事業「地域歴史遺産保全活用教育研究を基軸とした地域歴史文化育成支援拠点の整備」を始めています。



神戸大学・灘区まちづくりチャレンジ事業

この事業は、2004年12月2日に灘区との間で締結された連携協定により「地域の課題の解決および魅力の向上を目的として実施する活動・事業に助成を行い、灘区のまちづくりの活性化に資すること」を目的として、2005年から始められました。神戸大学の教員・職員・学生からなる組織を対象に、2009年度までに9団体が採択されています。今年度は、教職員関係1団体、学生関係3団体の事業に助成が行われます。



年度	活動名	団体名(当時)
2005	・篠原地区の昔と今 ～古文書と古写真～ ・知的障害者の生涯にわたる地域生活支援に向けた場づくり	神戸大学文学部地域連携センター(教職員) 神戸大学大学院総合人間科学研究科(教職員)
2006	・水道筋地域のむかし ・灘区内の復興公営住宅住民と周辺地域住民でのコミュニティ形成支援事業	神戸大学文学部地域連携センター(教職員) 神戸大学灘地域活動センター(学生)
2007	・健康づくり隊の自主活動支援事業	神戸大学医学部保健学科(教職員)
2008	・耐震診断を通じた灘区民の防災・耐震意識啓蒙のための活動	神戸大学自然科学系先端融合研究環(教職員)
2009	・ポーボキと一緒に平和を探そう!ポーボキ・ピース・チャレンジ ・災害復興住宅住民と周辺地域住民と周辺地域住民でのコミュニティ形成支援事業 ・人形劇公演	ポーボキ・ピースプロジェクト(教職員) 神戸大学灘地域活動センター(学生) 神戸大学児童文化研究会(学生)
2010	・発達障害を持つ幼児とその家族を中心とした子育て支援ネットワークづくり事業 ・災害復興住宅住民と周辺地域住民でのコミュニティ形成支援事業 ・0歳からの親子コンサート ・まちプロジェクトーまちTゆうえんち'10	神戸大学保健学研究科地域連携センター(教職員) 神戸大学灘地域活動センター(学生) 0歳からの親子コンサートプロジェクト実施委員会(学生) まちプロジェクト実行委員会(学生)

画像：2006年度採択「水道筋地域のむかし」への助成により作成された冊子表紙

*この他、灘区では次のような学生サークルが、地域活動を行っています。

- ・摩耶山星まつり：神戸大天文研究会や神戸市灘区役所などでつくる実行委員会
- ・灘区の桜まつりや秋まつり：環境サークル「エコロ」
- ・地域の防犯活動に参加：まちづくりボランティアサークル「ドリームプランター」

これ以外の学生たちによる地域活動についても、紹介したい事例がありましたら、地域連携推進室(803-5977, 5029)までお知らせ下さい。

“一日限りの農家レストラン” 篠山真南条で開店

2010年7月17日(土)、篠山真南条上営農組合と農学研究科地域連携センターが一日だけの農家レストランを開店しました。近年営農組合と神戸大学では、地域の新しい特産品づくり「丹波の赤じゃがプロジェクト」に取り組んでいます。

「赤じゃが」は、昨年神戸大学農学研究科と篠山真南条上営農組合によって誕生した新種のジャガイモです。「ネオデリシャス」というアンデス赤品種のじゃがいもで、サツマイモのように赤紫の皮に覆われていることから「丹波の赤じゃが」と名付けられました。ほくほくした食感で、アントシアニンやカロチンなど栄養も豊富。現在、丹波篠山、真南条上でしか栽培されていません。

今年はその赤じゃがを生かして、地域活性化のためのコミュニティビジネスライアルとして、「農家レストラン」を一日限り開店しました。

場所は、真南条上営農組合作業小屋および畑。1部 16時30分～18時30分(50人)、2部 18時30分～20時00分(50人)限定で、予約を募ったところすぐに満席、予約をことわるほどの盛況ぶりでした。

メニューは、地域の特産品化をすすめている「丹波の赤じゃが」をふんだんにつかったコース料理のみ(¥2,500)。お手製の“窯”で焼かれたピザも食欲をそそりました。

当日は、地元のお父さんたちのバンドも出演し、会場を盛り上げました。



夏の里山の夕べ。音楽とともに。

2010
7/17(土)

丹波篠山・真南条 一日限りの
農家レストランOPEN
限定100名予約受付中

主催：丹波の赤じゃが農家レストラン実行委員会
協力：神戸大学農学研究科地域連携センター 篠山真南条上営農組合 丹波市農協 丹波市農業センター 丹波市農協 丹波市農業センター

真南条上営農組合と神戸大学農学部(地域連携センター)では、地域の新しい特産品づくり「丹波の赤じゃがプロジェクト」に協力して取り組んでいます。今年、丹波の赤じゃがを皆さんに知って頂くとともに、地域活性化の小さなビジネス(コミュニティビジネス)として「農家レストラン」を積極的に開店することになりました。ぜひ真南条上を訪れ、地域の赤じゃがを食卓に楽しんでください。

詳細は「丹波の赤じゃが」でぜひ検索してください。
お問い合わせ：大学生と地元による継続的な取組です。お申し込みは参加・見守りいただき、ご無理・ご迷惑を承れば幸いです。

MENU
●赤じゃがコース(¥2,500)
前菜(2種類から)、スープ(2種類から)、赤じゃがとグリルチキン、焼野菜、デザート(2種類から)

●飲み物
ビール(レインアルコールもあり)、地酒、黒豆ジュース

※メニューは変更する場合があります。
単品(赤じゃが野菜ピッツァ、高校生開発赤じゃが料理、お母さんの郷土料理など)もご用意しますが、1部2部とも開始60分後からのご注文となります。

学生地域アクションプランより

Fair Life in こうべ

PEPUPは、草の根レベルで国際協力を促進することを目的に、神戸大学の学生を中心に1998年5月に設立された国際協力NGOです。フィリピンのNGO、SPTFTCと直接的、継続的に関係をもちながら、ドライマンゴーを輸入販売するフェアトレード活動を主に行っています。

2010年6月27日(日)には、阪急岡本駅のすぐそばの“farmhouse cafe”でフィリピンでのスタディツアーの報告会を行いました。10月には、灘区民ホールで、スタディツアーの報告会とフェアトレードの紹介展示を行う予定です。



歴史資料ネットワーク、 落合重信記念賞受賞

人文学研究科に事務局のある「歴史資料ネットワーク」が歴史研究団体「神戸史学会」より「落合重信記念賞」を受賞し、2010年5月8日(土)、深江会館(神戸市東灘区)で贈呈式が行われました。

歴史資料ネットワークは1995年2月4日、阪神・淡路大震災で被害を受けた歴史資料の保全のために発足しました。今回、このような災害において歴史資料を搬出・保全・修復する活動に加え、他県にもその活動が広がるなどの点が評価され、贈呈されることになりました。



2010年度学内公募事業が採択されました

2007年度から、神戸大学の地域連携事業の一層の推進・発展を図ることを目的に、各部局等において計画されている地域連携事業の支援をおこなっています。また、学生の力を活かし、地域社会と連携して地域を活性化しようとするための活動を支援しています。本年度は公募によって下記の事業が採択されました。

2010年度 学生地域アクションプラン 採択事業

団体名	申請事業名
PEPUP（平和と自立のためのパートナーシップ）	Fair Life in こうべ
神戸大学アメリカンフットボール部	発達障がい児の早期療育としてのフラッグフットボール教室
父親の育児を応援する会	お父さんの育児講習会 ～子どもの食事づくりと病気の時の対処～

2010年度 地域連携事業 採択事業

部局名	申請事業名
経済学研究科	兵庫県多可郡多可町における「まちづくり」連携事業
人間発達環境学研究科	南あわじ市「諭鶴羽古道プロジェクト」への支援
自然科学系先端融合研究環 都市安全研究センター	みんなで考えよう安全・安心で快適なまちづくり
医学研究科	兵庫県喘息死ゼロ作戦

活動報告

2010年

- 2月28日 「たつの市町史」完成シンポジウム
- 3月29日 地域・だいがく連携通信第6号を発行
平成21年度地域連携活動発表会報告書を発行
- 4月 1日 人文学研究科が神戸市企画調整局と、震災関連資料の整理・保存及び活用に関する連携協定を締結
- 12日 神戸大学・灘区まちづくりチャレンジ事業助成募集（～5月7日）
- 27日 地域連携事業、学生地域アクションプラン募集（～5月21日）
- 6月 7日 食資源教育研究センターで加西中学校2年生が「トライやる・ウィーク」の体験学習（～11日）
- 27日 スタディーツアー報告会（PEPUP 学生地域アクションプラン採択団体主催）に参加
- 28日 人文学研究科が第1回地域歴史文化連携コンソーシアムを開催
- 7月17日 農学研究科地域連携センターが「丹波篠山・真南条 一日限りの農家レストラン」を開店
- 8月 2日 兵庫県公館にて、兵庫県と連携協定を締結、記念講演会を実施
- 4日 灘区役所にて、神戸市各区まちづくり担当者との意見交換会

編集後記

学内のセミの声がにぎやかに、夏の到来をつけています。今年は、“フェアトレードの報告カフェ”、“お父さんへの育児講習会”などなど、幅広い学生の活動がおこなわれます。“一日限りの農家レストラン”の企画も新鮮でした。これ以外にも、地域のいろんなところで、神大生が活動しています。お見かけになりましたら、ご一報ください。